

水害防ぐ地下トンネル

～つながる「地下河川」と「下水道」～

大阪府では、寝屋川流域総合治水対策事業の一環として、地下河川および下水道増補幹線を一体的に整備しており、浸水被害の軽減に取り組んでいます。

このたび、寝屋川北部地下河川守口調節池が完成し、令和3年3月30日より供用することとなりました。これにより、既設の下水道増補幹線とつながり、浸水被害を軽減できるエリアが守口市、門真市および寝屋川市において約1,600ヘクタール拡大します。



守口調節池
(鶴見立坑～松生立坑)
貯留容量：約6万立方メートル
延長：3.1km

【寝屋川北部地下河川 守口調節池】

寝屋川北部地下河川鶴見立坑（鶴見緑地公園内）から寝屋川北部地下河川松生立坑（門真市松生町）まで

深 さ：約25～30メートル
内 径：4.9～5.1メートル
延 長：3.1キロメートル
貯留容量：約6万立方メートル
(25mプール約170杯分)



▲地下河川内部写真

寝屋川北部地下河川は、すでに供用中の貯留容量と合わせて、26万立方メートルの雨水貯留が可能となります。

また、一体的に整備を進めている下水道増補幹線の貯留容量を含めると、46万立方メートルの雨水貯留が可能となります。

【凡例】

- 地下河川 (今回供用)
- 地下河川 (完成、貯留運用中)
- 地下河川 (工事中、整備予定)
- ← 下水道増補幹線 (完成、貯留運用中)
- ← 下水道増補幹線 (工事中、整備予定)
- ← 市公共下水道幹線
- 集水面積 (拡大エリア)